

DXを成功に導く オフィス改革とデジタルサイネージ

2026年3月

NECフィールディング株式会社



はじめに ～ 本書を読むとわかること ～

本書は、オフィスのDXを検討されている方向けに、DX推進における課題やオフィス改革、デジタルサイネージ活用効果を記載した資料です。貴社のオフィスにおけるデジタルサイネージ活用検討の一助となれば幸いです。

1

DXにおけるオフィスの重要性がわかる

2

オフィスにおける課題とデジタルサイネージの役割がわかる

3

オフィスのデジタルサイネージ活用による効果がわかる

※本書の内容は弊社見解に基づき記載したものであり、特定のサービスや企業を評価したものではありません。実際の検討にあたっては貴社の基準や要望を踏まえてご判断ください。

DXの定義と取組状況

企業発展に不可欠とされるDX（Digital Transformation）。日本でDXに取り組む企業は2022年から2023年で55.8%から69.3%に増加しています。今後はより一層の全社レベルでの取り組みが必要とされています。

DXの定義

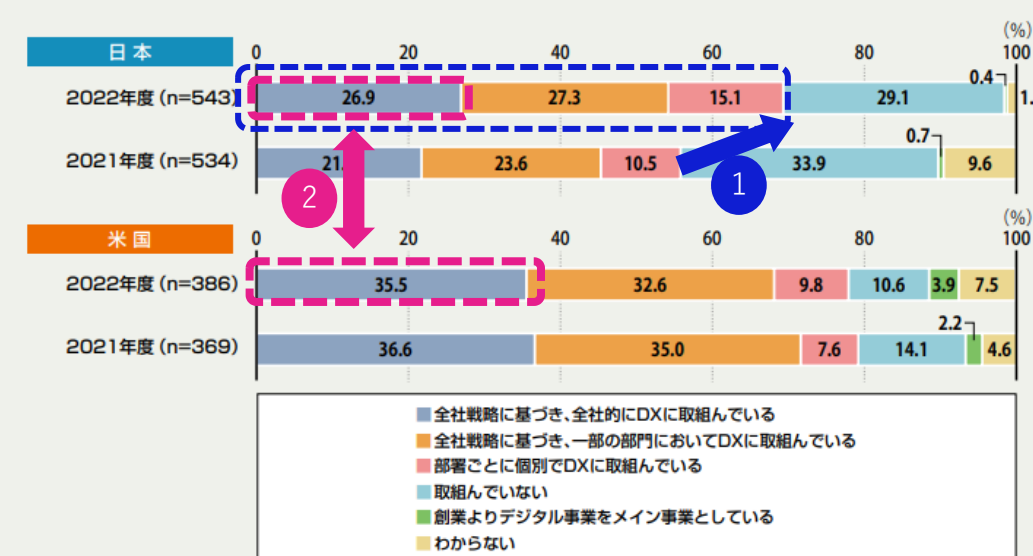
企業が外部エコシステム（顧客、市場）の破壊的な変化に対応しつつ、**内部エコシステム（組織、文化、従業員）の变革**を牽引しながら、第3のプラットフォーム（クラウド、モビリティ、ビッグデータ／アナリティクス、ソーシャル技術）を利用して、新しい製品やサービス、新しいビジネス・モデルを通して、ネットとリアルの両面での**顧客エクスペリエンスの变革を図ること**で価値を創出し、**競争上の優位性を確立すること**（IDC JapanによるDX定義）

引用元：経済産業省Webサイト

（DXレポート～ITシステム「2025年の崖」の克服とDXの本格的な展開～（本文）：P3）
<https://www.ipa.go.jp/digital/dx-suishin/about.html>

DXの取組状況

2021年と比較してDXに取り組んでいる**企業は大幅に増加**（**①**）したが、**全社戦略としての取り組み**（**②**）は米国と比較して少ない。

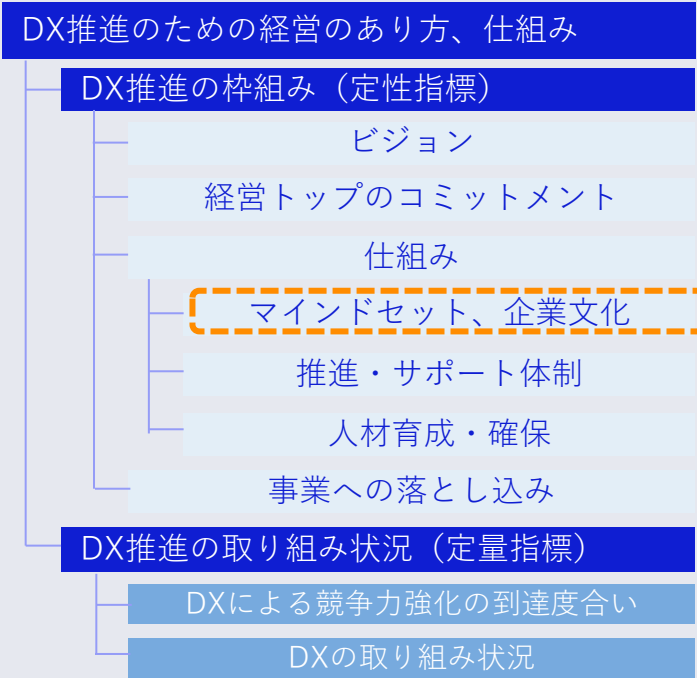


引用元：DX白書2023 P83（独立行政法人情報処理推進機構発行）

DX推進指標と課題

DX推進における課題の一つとして、企業文化・風土の状況が指摘されています。DXを組織に根付かせ、全社レベルで進めるには、企業風土のありかたをDXにふさわしい形に変革していくことが求められています。

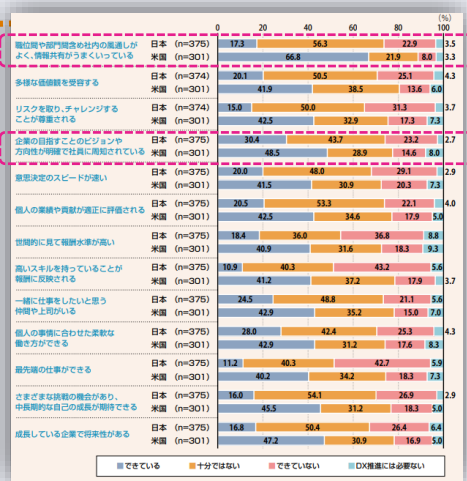
DX推進指標（抜粋）



引用元：独立行政法人情報処理推進機構Webサイトより抜粋
<https://www.ipa.go.jp/digital/dx-suishin/about.html>

DX推進のための企業文化・風土の状況

米国と比較して、すべての項目で大きく乖離している

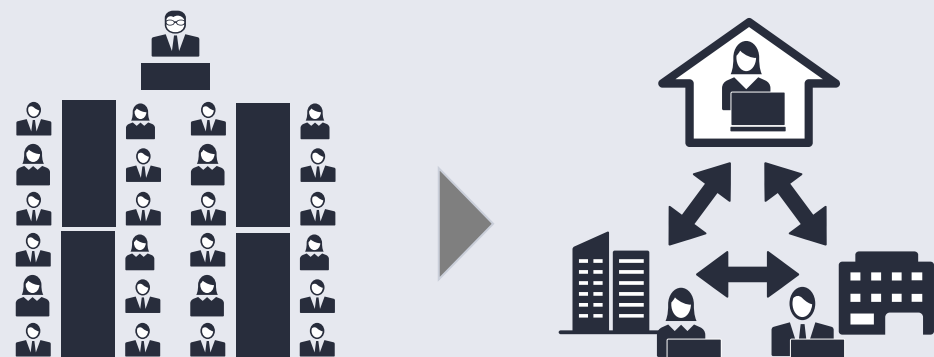


引用元：DX白書2023 P178（独立行政法人情報処理推進機構発行）

企業風土とオフィスの関係

従業員が勤務するオフィスは企業風土の変革と密接な関係があります。オフィスでの勤務のありかたが変わっていく中で、オフィスをコミュニケーションの場として、再構築する試みが様々な企業で行われています。

オフィスでの勤務のありかた



過去

同じ時間に同じ場所で集まって働くための画一的な空間

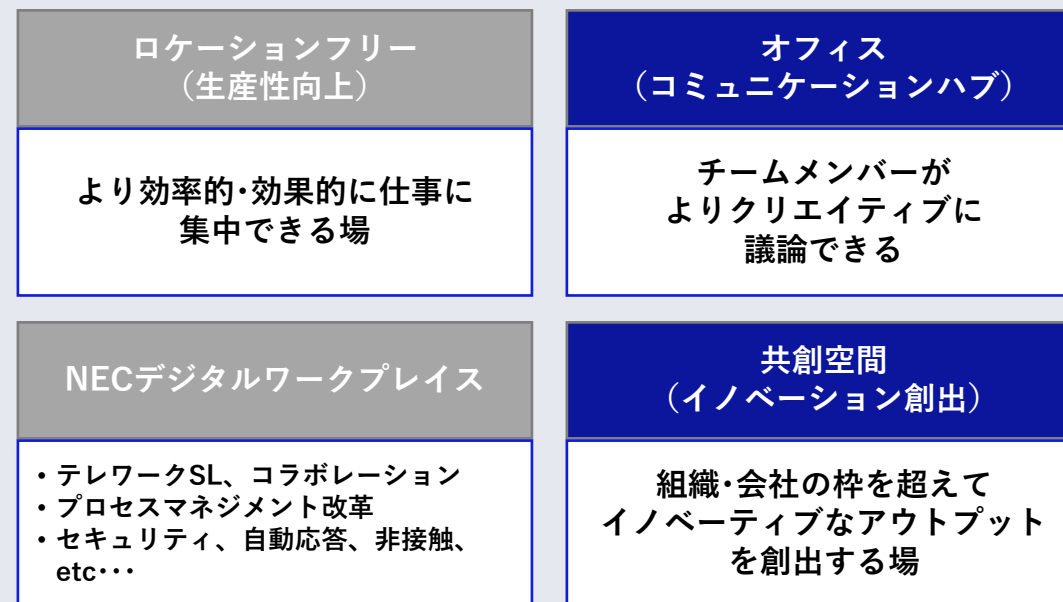
これから

業務目的に応じて働く場所を選ぶABW (Activity Based Working) の拡大
オンラインとオフラインのハイブリット

コミュニケーションが希薄化する懸念

企業の取り組み例

NECのSmartWork2.0

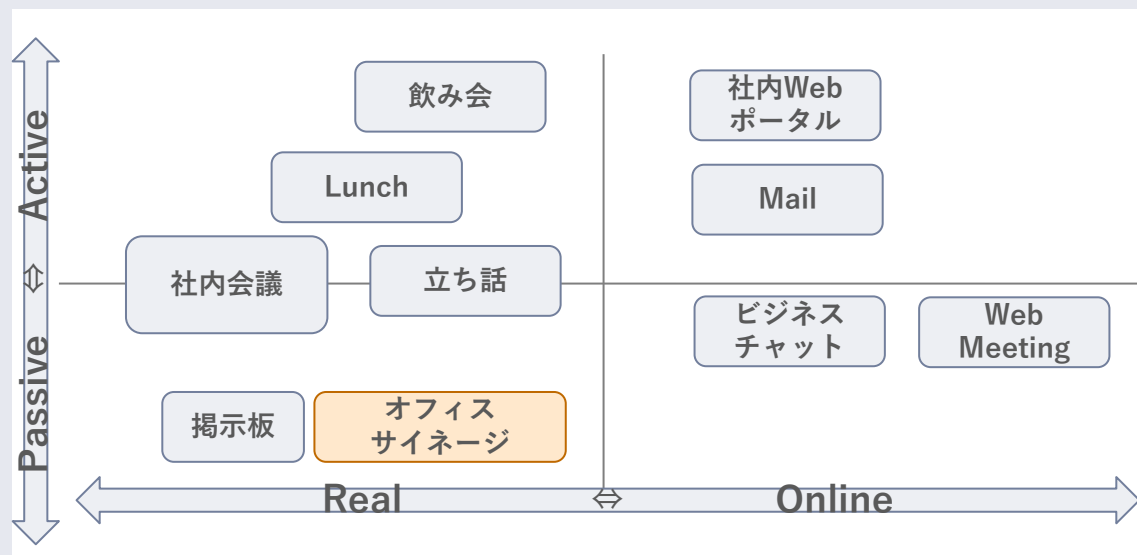


オフィスをコミュニケーションハブへ

オフィスでのコミュニケーションとデジタルサイネージ

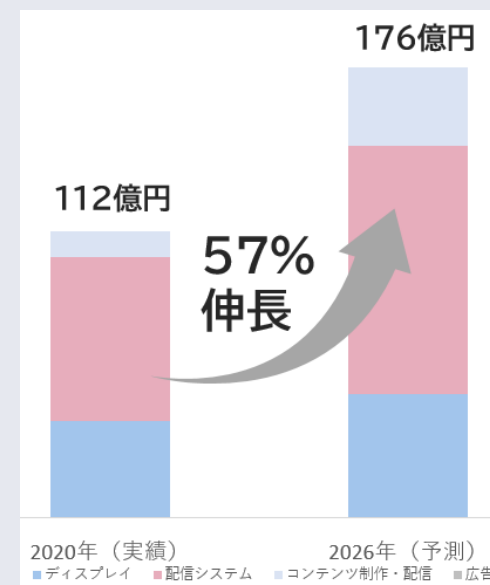
オフィスでのコミュニケーション手段として、近年、デジタルサイネージが注目されています。社内における各種コミュニケーションを補完する役割でデジタルサイネージが活用されています。

社内における各種コミュニケーション



リアルとオンラインをつなぐ仕組み

オフィスサイネージ市場



引用：富士キメラ総研：デジタルサイネージ市場総調査2021及び2023

各企業で導入が進んでいる

デジタルサイネージとは

「デジタルサイネージ」とは「屋外・店頭・公共空間・交通機関など、あらゆる場所でディスプレイなどの電子的な表示機器を使って情報を発信するメディアの総称」です。

「デジタルサイネージ」には3つの特長があります。時間や場所に合わせて大画面で情報発信できるため、強制視認により高い効果が認められます。

1. 場所や時間に応じたコンテンツ

- 場所や時間に合わせ情報を変えられる
⇒ポスターは固定情報のみ、
テレビは場所を選べない



2. 大画面でプッシュ通知、広範囲な即時性

- 大画面で自然と目に入るプッシュ型
- 一斉に速く伝える
⇒小さな画面のスマートフォンではできない



3. わかりやすさ・伝わりやすさ

- 動画＋静止画でインパクトありわかりやすい
⇒貼紙やポスターではできない



この効果をオフィスの各シーンで活用することを目的としたものがオフィスのデジタルサイネージです。一般的にオフィスサイネージと呼ばれています。

従来のオフィスサイネージ活用目的

従来のオフィスサイネージは社内向けの各種通知や設備利用状況表示、社外向けにおいては来客用のプロモーションなど、それぞれ個別の目的で導入、活用されてきました。

対象：社内

●バックオフィス情報

- ・ 総務、経理部門などから全社通知
- ・ 災害、リスク管理

●福利厚生情報

- ・ イベント情報
- ・ カフェテリア・食堂情報

●フロントオフィス情報（営業、生産部門など）

- ・ 販売実績、生産進捗情報
- ・ 部門内情報共有
- ・ 会議室予約状況、行動予定一覧



対象：社外

●広報・プロモーション

- ・ 製品サービスのプロモーション
- ・ お客様、株主、パートナーへのプロモーション



これからのオフィスサイネージ活用目的

これからのオフィスサイネージは個別目的だけではなく、全社で共同利用することにより、経営ビジョンの浸透や全社コミュニケーションの活性化などの企業風土改革に活用されることが求められています。

対象：社内

●DX推進・企業変革

- ・経営ビジョンの浸透
- ・従業員のマインドセット変革促進

●コミュニケーション活性化

- ・チームワーク強化
- ・エンゲージメント向上
- ・イノベーション創出促進



対象：社外

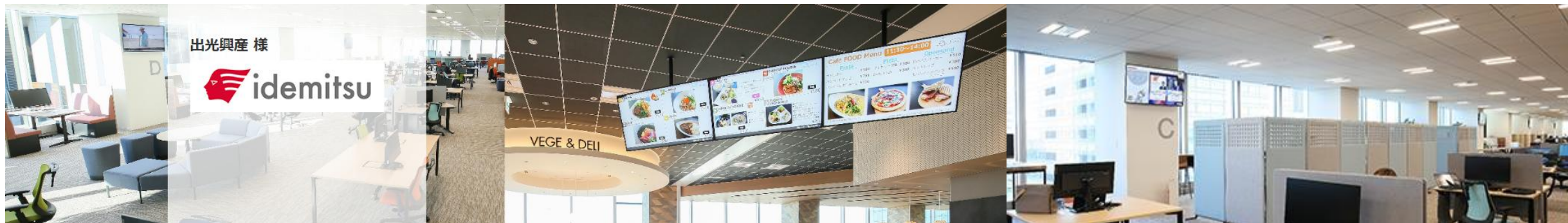
●ブランディング

- ・企業ビジョン、ブランドコンセプトの発信
- ・社会貢献、SDGs取組の発信
- ・ブランド価値のお客様、株主投資家への浸透



導入事例ご紹介：出光興産様

出光興産様では、オフィスを価値創造に挑戦できる環境にしたいと考えていました。そのために必要なコミュニケーションを活性化させる仕組みとしてデジタルサイネージを導入し、全社で活用しています。



「行動変容を促す」新たなチャネルとしてデジタルサイネージを導入
オフィスの価値創造に挑戦できる現場へ

デジタルサイネージ活用ポイント

- オフィスを「**対面でのコミュニケーションの強みをより発揮、価値創造に挑戦できる**」環境にしたい
- インナーコミュニケーションの為の**社内Webサイトやメールは情報過多**となり認識してもらえない
- ポスター等の代替だけではなく、PUSHで情報伝達が可能な「**行動変容を促す**」**新たなチャネルとして**導入
- **複数部門でコンテンツを相互に登録し配信する運用体制**を実現。
- 誰でも見やすく、訴求力のある**コンテンツテンプレート**を作成

詳細はWebサイトに掲載：https://jpn.nec.com/d_signage/cases/idemitsu.html

まとめ

ご高覧ありがとうございました。本資料にてお伝えしたことは下記の3点になります。具体的な活用方法や導入効果、導入時の検討ポイントなどについては別資料をご覧ください。

1

DXを成功させるためには企業風土の改革が必要

2

企業風土改革の為にオフィス改革に取り組む企業が増加

3

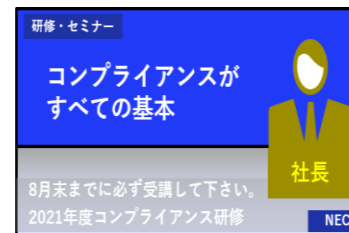
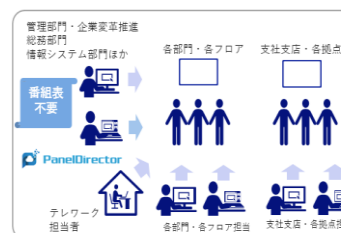
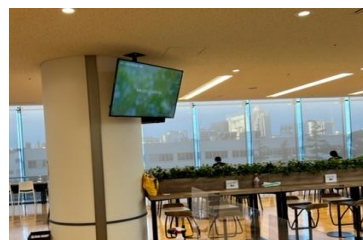
オフィス改革の手段としてデジタルサイネージ活用が進んでいる

※本書の内容は弊社見解に基づき記載したものであり、特定のサービスや企業を評価したものではありません。実際の検討にあたっては貴社の基準や要望を踏まえてご判断ください。

最後に

オフィスサイネージ導入の効果を最大限発揮するためにはハードウェアの導入だけではなく、目的の明確化やコミュニケーションプラン、表示コンテンツ作成や運用などの役割分担など、様々な知見の活用が必要となります。NECは多彩な導入実績とノウハウにより、貴社のオフィスサイネージ導入の成功をご支援します。お気軽にご相談ください。

NECの多彩な導入実績・ノウハウ



【お問い合わせ先】

NECフィールディング株式会社 デジタルサイネージ担当

メールアドレス : d_signage@dsg.jp.nec.com

NEC

\Orchestrating a brighter world

NECフィールディング